

はじめに

登り勾配にさしかかると、重い荷を引いたSLは荒々しく煙を吐き、レールを噛み、全身をふるいたたせて力闘する。助けてくれる者は誰もいない。すべてが自分ひとりの孤独な闘いの連続。それはあまりにも哀れなSLの運命なのかも知れない。だが、いつも自分の力で行動し得ると言う事は、時にはまぶしい位に新鮮であり、うらやましい。

峠を登り切って坂を転がっていく姿は、ひたすら家路を急ぐ駄々ッ子 みたい。これほど喜怒哀楽を素直な態度でみせるヤツに、好感と興味を 覚えずにはいられない私。

今ではもう日本の地から引退してしまい、走る姿を見る事ができなくなってしまった。そして写真では動く姿を見ることはできないかも知れない。

だが私の生命あるかぎり、甦り、走りつづけるであろう蒸気機関車。SL そのSLの四季折々の姿に目を通してくれる事は、この上ない喜びと 感じる次第であります。



駅に降りたのは私だけであった。涼風が顔をなでて行く。 南の国では、すでに花が咲き始めようというのに、ここ ではまだ冬の世界が広がっているようだ。

朝の冷たい空気は、やはり気持ちよい。

以前より計画していた目的地まで約5キロ、速く歩いて約60分で行くだろう。

それから山へ登り、線路を見下す地点へ! からだ全体 に「やるぞ!」という意欲がもりもりと沸いてくる。 途中一度だけ休みはしたが、時間通り到着。 S L が来る

まであと30分。撮影仕度をして来るのを待つばかりだ。 かすかにドラフト音が聞こえる。

来た!全身に力が入いる。幾度となく押して来たシャッターではあったが、やはり緊張する。

押した!やった!全身の力が一瞬のうちにぬけるようだ。 今の今まで無我無中で気がつかなかったが、ふとあたり を見渡すと、あちこちにふきのとうがたくさん芽をふい ていた。





朝日の当たる道

九州 日南線 内海〜小内海 朝日をいっぱい浴びて走る C 11。 忙しい 1 日が今日も始まる。



朝の道

北海道 石北本線 呼人~女満別 網走を後にした C58 が客車を従え て快走していった。



水芭蕉の咲くの道 北海道 石北本線 呼人〜女満別 水芭蕉は湿原に咲く花。泥沼に入っての撮影は冷たい。



C11 入線

東北 会津線 湯野上駅にて 桜咲きほこる中に C11 が入線。 それはまさに春を告げる風景との 出会いであった。



会津の寸景

東北 会津線 桑原駅にて 駅に着いた C11 はこれから給水。 休むひまもなく又走る。



憩う

東北 会津線 湯野上駅にて 駅の構内には、春を告げる桜が咲い ていた。そして C11 も休んでいた。



C58 とレンゲ草

九州 志布志線 安楽~中安楽 安楽川のほとり大隅地方の春は レンゲ草を見ることから始まった。



青 春

東北 只見線 会津宮下~早戸 はちきれる若さ! かけあしする女学生、 咲きほこる桜、C11 も加わって一つの ストーリーがが生まれそうだ。

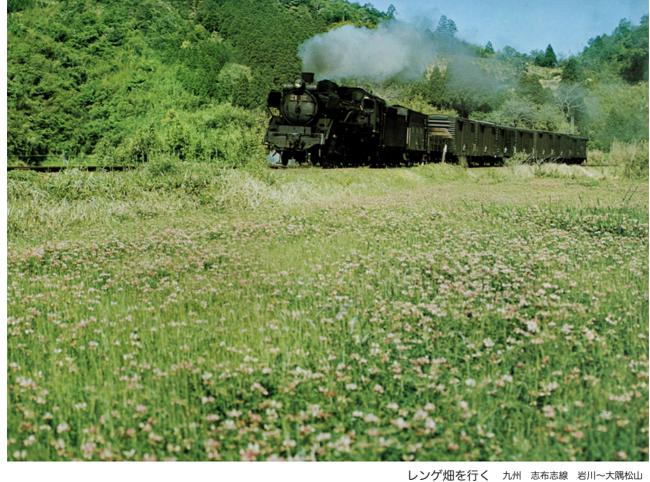


C58 とコイノボリ 北海道 釧網本線 清里町~南斜里 この家にもきっと子供がいるのだろう。子の成長を願って、コイ登りは風になびく。SL は走る。



憩う C11

九州 日南線 油津駅にて 雨も上がり花のかほりに包まれて幸せ行き SLの出発も間近い。

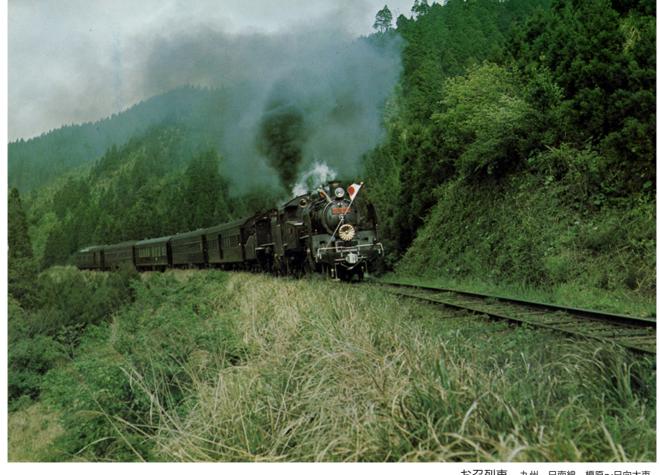


レンゲ畑が広がる大隅地方にも春が来た駅を出たばかりの C58 はリズミカルに走って往く。



お召列車

九州 宮崎機関区にて お召列車けん引の役目を果たし、 のんびり憩う C57―― その名は貴婦人。



お召列車 九州 日南線 榎原~日向大東 宮崎県植樹祭に活躍するお召列車。この日はあいにくの曇り空だった。



9600 とサンゴ草 北海道 湧網線 北見平和~卯原内 サンゴ草が一面に広がる風景の中をのんびりと S L は走り去った。



C58 と斜里缶 北海道 釧網線 清里町~南斜里 快晴の空、斜里岳がくっきり浮かび人々の夢を乗せて C58 は走る。



可憐に咲く花

東北 会津線 桑原駅にて 動物たちが冬眠からさめる春。会津の里では ひっそりと花が咲いていた。



春のささやき 九州 志布志線 岩北~末吉 春の陽ざしに乗ってやってきた C58。 この線区ではめずらしく長い貨物列車だった。



伯耆大山のふもと 中国 伯備線 岸本~伯耆大山

大山ではだんだんスキー客も減り始め、 あたたかくなるとハイカーたちでにぎわ うようになる。春は目の前だ!



力 闘 東海 明知線 阿木〜飯羽間 峠目指して C12 は走る。



ニイタカヤマ ノボレ 台湾 阿里山線 竹崎付近 運材列車が南国風景の中に現われては 消えていった。



レンゲ畑草九州志布志線西都城~今町春だ!春だ!とC58 は走る。



桜と菜の花と C11 と 九州 日南線 榎原~日向大東 のどかな景色が展開される日南地方。菜の花と桜に囲まれて SLも幸せだろう。



ダッシュする C62 北海道 函館本線 上目名~熱郛 2台の C62 が力を合わせて夕暮れせまる峠道を驀進。そこには力強さがあった。



南アルプス 東北 小海線 小淵沢~甲斐小泉

残雪の南アルプス、甲斐の山々の春は浅い。 春一番吹く風が山々にこだまし、心なしか C56のドラフト音にも力が入る。



急行列車 北海道 函館本線 小沢〜倶知安 急「ニセコ3号」103レの先頭に立つC622C623も加勢して重連で峠を越えてゆく。



サボテン園通過

九州 日南線 伊比井駅にて

日南海岸サボテン園の下車駅を通過する C11。忙しげに走り去る姿が印象的だった。



お召列車 中国 伯備線 豪渓〜総社 岡山県植樹祭を終えて帰途に着くお召列車。



山峡を行く 東北 会津線 弥五島~楢原 うっそうとおおいかぶさる木々が C11 を やさしく包み幻想の世界へと導く。

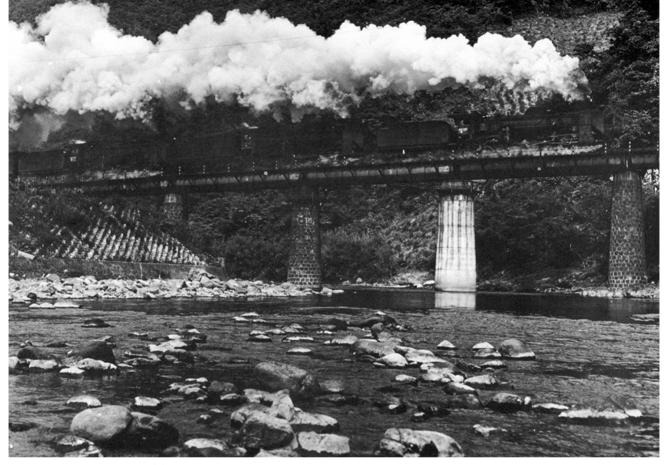


滝の上 北海道 渚滑線 北見滝ノ上〜濁川 滝の上を滑るようにして走り去る。 春とともに雪どけ水がふえた。



山間を行く 九州 日豊本線 国分~南霧島(信)

右手に鍾乳石の見えるこのトンネルの名前は、「天の岩戸」。 やはり日向国をるのにふさわしい所であった。



D51 三重車 中国 伯備線 布原(信) ひざ上までズボンをまくって川の中より撮影。冷たい水も三台のたくましい D51 たちを見ると苦にならない。



快 走 北海道 函館本線 黒松内~熱郛

かつて C62 と言えば押しも押されもせぬ日本の代表的な機関車であったが、SLのいない今ではむなしい限りだ。



サミットまであとわずか 九州 日豊本線 国分~南霧島(信) 山間にひびき渡るドラフト。 さえ渡る鳥の鳴き声、 ブラスト音も入って合唱の始まり。



トンネル

東北 会津線 桑原~湯野上

会津線に於いてこの区間にはトンネルも多く、その一つから絶気で安全弁を吹いて来る C11 を狙った。



のんびり走るポニー東北小海線小淵沢~甲斐小泉南アルプスの見える C56 の走る道。



カワラ屋根 中国 山陰本線 田儀~波根 山陰独特のニスを塗ったような カワラ屋根が美しい。

